

| 第9号 (2021年3月発行) | | (価格1,210円(税込)) |
|---|--|-------------------------|
| 巻頭言 | | |
| 「大学職員」という用語をめぐる一考察 | | 高橋 裕子 |
| 寄稿 特集「大学におけるICT活用」 | | |
| 相模女子大学「夢をかなえるセンター」のキャリア形成支援—コロナ禍におけるオンラインを活用した取組み— | | 会田 恵子、武石 聡子 |
| ポストコロナ時代の大学教育を見据えた立命館アジア太平洋大学 (APU) のチャレンジ | | 大西 克樹 |
| ICT を活用したワークスタイル変革・意識改革に向けて | | 金子 康樹 |
| 授業におけるICT 活用とその支援体制について | | 小林 智子・浅野 あす香 |
| 大学のICT 活用：学校法人立命館・RIMIX の取組み | | 富田 沙樹 |
| コロナ禍におけるICT を活用した就職支援の事例報告 | | 中山 一郎 |
| コロナ禍の影響下における早稲田大学の対応と課題 | | 本庄 秀明 |
| Covid-19パンデミックの先に見えてきたSociety 5.0 におけるICT教育利用：個別最適化された学びと学習デジタルエコシステム | | 山田 恒夫 |
| 投稿 論文 | | |
| 大学における理念の浸透の研究—全国大学調査をもとに— | | 谷ノ内 識 |
| 文教政策の視点に基づく教員評価制度に関する一考察—補助金要件を中心に— | | 手嶋 政洋 |
| 特別掲載 | | |
| 【座談会】日本のグローバル人材育成と英語教育を考える ～コロナ禍の先を見据えて～ | | 佐藤 恭仁彦・田中 慎也・寺内 一・渡部 良典 |
| 書評 | | |
| 篠田道夫 (著) 『大学改革の処方箋—中長期計画推進・教育改善・職員力向上—』 | | 土居 希久 |
| 加藤真紀・喜始照宣 (著) 『グローバルに問われる日本の大学教育成果』 | | 前田 早苗 |
| SD レポート | | |
| 大学行政管理学会におけるSDの取組みについて | | 金田 淳一 |

| | |
|--|--|
| 効果的な教職員研修を実施するために～北海道大学高等教育研修センターの活動～ | 山本 堅一 |
| 内部質保証と大学職員 | |
| 淑徳大学の内部質保証の有効化と大学職員の役割 | 荒木 俊博 |
| 東北福祉大学の内部質保証システムと推進のための取り組みー内部質保証を有効に機能させるために職員ができることー | 田村 美瑞帆 |
| 2019(令和元)年度 大学基準協会 研修修了者の声 | 石井 義人・五代 友明・ 後藤 優樹・白濱 雄也・ 菅 聡樹・田中 悠水・ 樽野 雅史・西尾 俊哉・ 室屋 裕樹・矢野 章広・ 山田 和宏・吉田 直樹 |

| 第8号 (2020年3月発行) | | (価格1,045円(税込)) |
|--|--|---|
| 巻頭言 | | |
| 大学職員論のこれまでとこれから | | 山本 眞一 |
| 寄稿 特集「教職協働—これまでとこれから—」 | | |
| 昭和女子大学のキャリア支援における教職協働について | | 磯野 彰彦 |
| 教職協働のSDプログラムのデザインを考える | | 岩崎 千晶 |
| 新たな事業創出を目指す教職協働イノベーション研究 —取り組み開始から第10回を迎えて— | | 鈴木 宏祐・稲坂 真紀 |
| 教職協働における大学職員の役割と専門性の獲得 | | 南部 直気 |
| 常に前進する大学を目指して～教職協働から教職学協働による大学改革 | | 吉川 倫子 |
| 投稿 論文 | | |
| ビッグデータを活用した大学IRの成果概要報告と考察 | | 野村 一樹 |
| 書 評 | | |
| 一般社団法人大学行政管理学会 大学事務組織研究会 (編) 『大学事務職員の履歴書』 | | 金田 淳一 |
| 中井俊樹編著 『大学SD講座 1 大学の組織と運営』 | | 大工原 孝 |
| SD レポート | | |
| 大学職員サポートセンターの活動とこれから | | 小日向 允 |
| 次代の大学創造を担う人材養成 ～大学コンソーシアム京都の取組～ | | 吉貞 正流 |
| 内部質保証と大学職員 | | |
| 立命館大学における内部質保証の推進に向けた実践 - 事業計画課職員の視点から - | | 金剛 理恵 |
| 2018(平成 30)年度 大学基準協会 研修修了者の声 | | 岩附 良太・上田 浩志 高野 有紀・滝口 宣明 藤田 朋子・本多 美穂 |

| 第7号 (2019年3月発行) | | (価格 1,320円(税込)) |
|--|--|----------------------------|
| 巻頭言 | | |
| 社会連携と大学職員の取組み | | 納谷 廣美 |
| 寄稿 特集「大学の地域連携・地域貢献と職員の取組み」 | | |
| 茨城大学における地域連携・地域貢献活動の事例紹介 ーそこから見えてくる課題と今後職員に求められることー | | 稲葉 梨恵 |
| 地域にある総合大学としての「地域連携戦略」と大学職員の係わり | | 仁科 弘重 |
| 大分県立看護科学大学における地域貢献と大学職員の役割 | | 影山 隆之 |
| 金沢工業大学における地域連携事業と大学職員の役割 | | 林 学 |
| 地学一体のコンセプトと教職一体のガバナンスが拓く地域との関係 ー共愛学園前橋国際大学の取組ー | | 大森 昭生・見目 友香 |
| キラリと光る地方大学を目指してー高知大学職員が担う活動と役割ー | | 芝 弘行・洞口 由美・ 小島 真一・武政 麻美 |
| 神戸学院大学の地域連携・地域貢献と職員の取組みについて | | 松本 史朗 |
| 大学の地域連携と職員ーコーディネート機能の重要性ー | | 大江 篤 |
| 千葉大学の地域再生・地方創生に係る人材育成と大学職員の果たす役割 グローバルとローカルをつなぐ新たな展開 | | 菊地 勇次 |
| 社会資源の「学生ボランティア」を目指して 震災を契機に動いた宮城県の学生ボランティアと大学ボランティアの事例 | | 其田 雅美 |
| 徳島大学の地域連携・地域貢献 | | 玉田 昌宏 |
| 日本文理大学における地域連携・貢献と職員の在り方について | | 高見 大介・釘宮 啓 |
| 福井県地域における地方創生と大学職員間連携 | | 小林 誠巳 |
| 投稿 論文 | | |
| 学内有志勉強会における大学職員の能力形成ー人事部への調査からー | | 安田 誠一 |
| 研究業績に基づく個人研究費配分プロセスに関する若干の考察 | | 手嶋 政洋 |
| わが国の大学における教職学協働に関する優良事例の考察 ー大学の組織開発 (OD) に求められる要件ー | | 山口 豪 |
| 書評 | | |
| 高野篤子 (著) 『イギリス大学経営人材の養成』 | | 早田 幸政 |

| | |
|---|---|
| 溝上慎一（責任編集）、京都大学高等教育研究開発推進センター／河合塾 編 『高大接続の本質－「学校と社会をつなぐ調査」から見えてきた課題－』 | 田代 守 |
| SD レポート | |
| 職員業務の変革と業務遂行能力向上の取り組み ～職員の業務構造改革に向けた大学業務基準表の活用～ | 内山 博夫 |
| 巨大地震や大規模災害に対する災害時対応能力（防災力）の向上を目指して ～一般社団法人大学行政管理学会 大学防災（減災）教育・対策研究グループの 取り組み～ | 水谷 俊之 |
| 内部質保証システムの構築と大学職員が果たすべき役割 | |
| 中央大学の内部質保証システムにおける職員の役割 －設計士、整備士、広報パーソンとして－ | 中村 良輝 |
| 大正大学の内部質保証システムの推進について | 福中 裕之 |
| 2017(平成 29)年度 大学基準協会 研修修了者の声 | 会田 恵子・池幡 健一郎・ 石井 秀樹・勝野 友之・ 川口 純・阪上 真一・ 櫻井 卓・清水 大輔・ 大田 直貴・中島 光太郎・ 中田 裕己・水野 嘉文・ 横山 浩史 |

| 第6号 (2018年3月発行) | | (価格 1,540円(税込)) |
|--|--|----------------------------|
| 巻頭言 | | |
| 教育財のグローバル生産と大学職員の役割 | | 鈴木 典比古 |
| 寄稿 特集「大学職員と国際化業務」 | | |
| 地方国立大学での国際戦略を担う大学アドミニストレーターへの期待—岡山大学 上級グローバル・アドミニストレーターの事例から— | | 横井 篤文 |
| 金沢大学におけるグローバル化の推進と大学職員が担う業務と職員の能力養成 | | 松村 典彦 |
| 国際化の推進と職員関与の変化～関西学院大学の事例～ | | 豊島 美弥子 |
| 国際関係業務と職員 | | 山本 淳司 |
| スーパーグローバル大学創成支援事業における職員の国際化について | | 森 肇 |
| 国際大学：教育を通じて日本のグローバル化を促進する先駆者として | | 信田 グレチェン |
| 国際基督教大学：グローバル化に対応した教職協働とは何か？ | | 円谷 恵・島崎 弓子・ 森川 園子・紀平 宏子 |
| 芝浦工業大学のグローバル化「できない理由を考えるのではなく、どうしたらで きるかを考える」 | | 杉山 修・村田 雄一・ 古川 祐輔 |
| 海外協定校との連携による若手職員研修の事例紹介—「国際化業務」に必要なも のとは何か— | | 中山 映 |
| 「大学職員の国際化意識と国際通用性の向上」—創価大学の取組事例 | | 下出 博喜 |
| 職員が先導する大学の国際化業務—Rising Chiba University がめざすグローバル 大学— | | 織田 雄一 |
| 学生の海外派遣促進に係る考察～中期留学の課題／短期留学の開発と評価～ | | 紫村 次宏 |
| 東京外国語大学の留学 | | 新居 純子 |
| SGU 事業に伴う事務組織の改編と国際企画系の業務—東京藝術大学の事例— | | 桑山 智彦 |
| 東洋大学における国際化の取り組み | | 高橋 清隆 |
| 国際化に向けた教職協働—広島大学を事例として— | | 梅下 健一郎 |
| 大学職員と国際化業務—立教大学事例紹介— | | 小塚 守 |
| 立命館アジア太平洋大学における国際化を実現するための職員組織と研修制度に ついて | | 北村 滋朗 |
| 組織的国際化と国際担当職員の役割の深化～早稲田大学の事例より～ | | 眞谷 国光 |
| 投稿 論文 | | |
| 学生の授業アンケートによる授業改善—過去 10 年間のデータから— | | 藤川 昌幸 |

| | |
|--|-------------------------------------|
| 認証評価結果からみた事務組織及び SD の現状と課題—わが国の大学における事務組織機能の更なる質保証・向上を目指して— | 山口 豪 |
| 認証評価結果からみた専門職大学院における情報公開の現状及び課題と大学職員の果たすべき役割—専門職大学院の情報公開活動の更なる充実化に向けて— | 山口 豪 |
| 書 評 | |
| 石原俊彦（監修）、荒木利雄（著）『大学経営国際化の基礎』 | 土居 希久 |
| 篠田道夫（著）『大学戦略経営の核心』 | 山咲 博昭 |
| 書評へのリプライ | |
| 『「大学の死」、そして復活』に対する書評への応答 | 絹川 正吉 |
| SD レポート | |
| 次代を担う「大学アドミニストレーター」養成のために—日本私立大学連盟の研修事業について— | 相坂 太郎 |
| 大学行政管理学会のすゝめ | 重富 洋二 |
| 第 1 回大学教育イノベーションフォーラム「SD 義務化と大学の未来～全教職員の能力開発を組織開発につなげるために～」について | 大森 不二雄 |
| 2016(平成 28)年度 大学基準協会 研修修了者の声 | 荒木 徹・佐野 恭平・ 白石 和章・仲村 啓吾・ 平田 恵 |

| 第5号 (2017年3月発行) | | (価格 1,210円(税込)) |
|--|--|---|
| 巻頭言 | | |
| USRの担い手としての大学職員への期待 | | 井原 徹 |
| 寄稿 論文 (特集 大学の広報戦略を考える) | | |
| 大学を動かすものとしての広報 | | 岩田 雅明 |
| 企業目線からの広報業務の転換 | | 世耕 石弘 |
| 「応援したい大学」をめざして ー東洋大学の広報事例から考察する大学広報の可能性ー | | 榊原 康貴 |
| 関東学院大学のコミュニケーション戦略 (情報収集編) | | 安田 智宏 |
| 「見える化」？いえ「見せる化」です。福井大学の広報 | | 本多 宏 |
| 投稿 論文 | | |
| 大学職員のマーケティング意識行動 | | 遠藤 道政 |
| 国立の研究大学における入学者の地域別動向について | | 高田 英一・須釜 明日香・ 桑野 典子 |
| スタッフ・ディベロップメント (SD) に関するアクション・リサーチ | | 上島 洋佑・荒木 俊博・ 喜久里 要 |
| 書評 | | |
| 絹川正吉 著『「大学の死」、そして復活』 (東信堂、2015年6月) | | 小笠原 正明 |
| 木野 茂 編著『学生、大学教育を問う』 (ナカニシヤ出版、2015年9月) | | 松岡 尚志 |
| 窪内節子 監修『学生の主体性を育む学生相談から切り拓く大学教育実践』 (学苑社、2015年3月) | | 加藤 洋子 |
| 書評へのリプライ | | |
| 林透氏の『大学は社会の希望かー大学改革の実態からその先を読む』の書評に応えて | | 江原 武一 |
| 2015(平成27)年度 大学基準協会 職員研修プログラム 実施一覧 | | 大学基準協会事務局 |
| 2015(平成27)年度 大学基準協会 研修修了者の声 | | 櫻井 沙織・伏見 泰治・ 星山 一剛・山咲 博昭・ 山口 拓央・渡辺 和樹 |
| 大学職員日誌 (2015(平成27)年4月～2016(平成28)年3月) | | 原田 明德 |

| 第4号 (2016年3月発行) | | (価格 1,320円 (税込)) |
|--|--|--|
| 巻頭言 | | |
| 大学改革を推進するための大学職員の役割 | | 上杉 道世 |
| 寄稿 論文 (特集 大学職員の専門性と求められる能力) | | |
| 大学職員の専門性と人材育成に関する視座 | | 秦 敬治 |
| 教務人材の育成の現状と課題 —人事担当責任者への全国調査から— | | 上西 浩司 |
| 国際教育交流担当者の専門性と職能開発 | | 渡部 留美・星野 晶成 |
| 研究推進・支援職員の専門性と能力養成のあり方 | | 小澤 芳明 |
| 学生支援を担当する職員に求められる能力とその開発 —専門職の配置と専門性の向上を巡って— | | 橋場 論 |
| 私立大学における財務部職員の専門性と人材育成 | | 永和田 隆一 |
| 投稿 論文 | | |
| 組織文化に基づく大学職員試論 | | 各務 正・山本 淳司・ 秦 敬治・山崎 その |
| 認証評価の枠組みから見る大学職員育成の現状 —大学基準協会による大学評価を対象に— | | 栃木 哲朗 |
| 大学職員に対する大学院教育の効用に関する一考察 —職能開発と自己啓発の狭間で— | | 安田 誠一 |
| 投稿 事例報告 | | |
| SD 活動を通じて見えてきた横浜国立大学の防災の現状 | | 篠原 維・岡安 和人・ 鈴木 雄二・ 高橋 龍太郎・寺尾 喬・ 松澤 卓・吉野 剣 |
| 書 評 | | |
| 江原武一 著『大学は社会の希望か—大学改革の実態からその先を読む—』 (東信堂、2015年2月) | | 林 透 |
| 水戸英則 編著『今、なぜ「大学改革」か?—私立大学の戦略的経営の必要性—』 (丸善プラネット株式会社、2014年9月) | | 篠田 道夫 |
| 佛淵孝夫 著『大学版 IR の導入と活用の実際』 (実業之日本社、2015年2月) | | 高田 英一 |

| | |
|--|-------------------------------|
| 書評へのリプライ | |
| 「書評へのリプライ」質問への回答 ～失敗事例の背後にある幅広い大学職員論と人材育成の解明～ | 澤谷 敏行・五藤 勝三・ 河口 浩 |
| 大学事務組織研究のすすめ ～『大学事務組織の強化書』に対する書評へのリプライ～にかえて | 寺尾 謙 |
| 2014(平成 26)年度 大学基準協会 職員研修プログラム 実施一覧 | 大学基準協会事務局 |
| 2014(平成 26)年度 大学基準協会 研修修了者の声 | 加藤 慎司・加藤 正司・ 田名網 由紀・仲原 健太郎 |
| 大学職員日誌 (2014(平成 26)年 4 月～2015(平成 27)年 3 月) | 山口 豪 |

| 第3号 (2015年3月発行) | | (価格 1,320円 (税込)) |
|--|--|------------------|
| 巻頭言 | | |
| 「教養」という大学の課題 | | 絹川 正吉 |
| 寄稿 論文 (特集 FD・SD (大学教職員能力開発) の推進) | | |
| FDとSDの統合による組織的職能開発 —教員の立場から見た学習・学生支援の態勢強化— | | 井下 理 |
| 教員・職員の区分を越えた「大学人」の能力開発 —教員・職員関係の3モデルと「新たな業務」への対応を手がかりに— | | 今田 晶子 |
| 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD) の実践と課題 | | 小林 直人 |
| ネットワークによるFD・SDの促進 —「FD・SDコンソーシアム名古屋」から「FD・SD教育改善支援拠点」への展開— | | 夏目 達也 |
| 大学における組織開発 (OD) の試みと課題 ～教職協働から教職学協働へ～ | | 林 透 |
| 京都産業大学における学生中心の大学共創の実践 —学生・教員・職員が協働して創る教育の質保証システム— | | 中沢 正江 |
| 投稿 論文 | | |
| 大学の経営計画の進捗管理の現状と課題 —国立X大学における年度計画の策定と評価を中心に— | | 高田 英一・森 雅生・大石 哲也 |
| 教職員におけるIR技能の育成の現状と課題 —「IR人材育成カリキュラム集中講習会」の成果の検証を中心に— | | 森 雅生・大石 哲也・高田 英一 |
| 投稿 事例報告 | | |
| 教職課程の認定申請業務に関する教職協働の事例報告 | | 松宮 慎治・清水 寛之 |
| ウェイン州立大学のアイデンティティ再構築：トーマス・ペドロニ教授が大学基準協会を訪問 | | 野崎 与志子 |
| 書 評 | | |
| 大学行政管理学会・大学事務組織研究会 編『大学事務組織の強化書』（学校経理研究会、2014年3月） | | 御子柴 博 |
| 篠田道夫 教育学術新聞編集部 著『大学マネジメント改革 改革の現場—ミドルのリーダーシップ』（ぎょうせい） | | 村上 孝弘 |
| 北尾義昭 著『大学アドミニストレーターの挑戦—立正大学に懸けた男の軌跡』（東洋書店、2014年2月） | | 廣瀬 仁俊 |
| 澤谷敏行・五藤勝三・河口浩 著『大学職員のための人材育成のヒント—失敗事例から学ぶケースワーク 28の視点』（関西学院大学出版会） | | 山咲 博昭 |
| Mary Jane Curry and Theresa Lillis 著 A Scholar's Guide to Getting Published in English: Critical Choices and Practical Strategies (Bristol, Buffalo, & Tronto: Multilingual Matters) | | 野崎 与志子 |
| 書評へのリプライ | | |
| 行うことと書くこと —『大学職員は成長する』に対する書評へのリプライ— | | 上杉 道世 |
| 2013(平成25)年度 大学基準協会 職員研修プログラム 実施一覧 | | 大学基準協会事務局 |

| | |
|--|--|
| 2013(平成 25)年度 大学基準協会 研修修了者の声 | 奥村 靖之・鴨志田 佳代・ 鴨志田 麗奈・清水 正樹・ 新山 文洋・菅原 良将・ 高山 奈実・竹川 佳佑・ 武田 政宏・谷下 清貴・ 肥田 奈緒子・藤竹 亮仁 |
| 大学職員日誌 (2013(平成 25)年 4 月～2014(平成 26)年 3 月) | 山口 豪 |

| 第2号 (2014年3月発行) | | (価格 1,210円 (税込)) |
|--|--|--------------------------------------|
| 巻頭言 | | |
| 大学職員への期待 | | 増田 壽男 |
| 寄稿 論文 (特集 諸外国における大学職員の動向) | | |
| アメリカにおける大学職員と職能開発の動向 | | 高野 篤子 |
| 英国の大学における大学職員の動向 ～グローバル競争激化時代の中での変容に関する一考察～ | | 隅田 英子 |
| フランスにおける大学職員 —大学の自律性拡大と公務員制度の狭間で— | | 大場 淳 |
| 中国における大学職員の動向 | | 叶 林 |
| 投稿 論文 | | |
| 教学改革の推進と教職協働のあり方に関する考察 ～公立大学法人北九州市立大学の事例をとおして～ | | 江島 広二・近藤 倫明 |
| IR 担当職員における IR の機能・人に関する意識の現状 —国立大学職員に対するアンケート調査の結果を踏まえて— | | 高田 英一・森 雅生・ 桑野 典子 |
| 実践的な機関調査とは | | 森 雅生 |
| 投稿 研究ノート | | |
| 入試選抜への統計的手法活用の一考察 —一回帰直線による歩留り率予測— | | 清水 朗 |
| 投稿 事例報告 | | |
| The University of Pittsburgh : Meeting the Challenges of Globalization | | Diane Hardy Saran |
| 解題—ピッツバーグ大学におけるグローバル化への挑戦— | | 野崎 与志子 |
| 書評 | | |
| 山本眞一 著『[新版] 大学事務職員のための高等教育システム論—より良い大学経営専門職となるために』 (東信堂) | | 篠田 道夫 |
| 上杉道世 著『大学職員は成長する—進化する大学 新段階の SD—』 (特定非営利活動法人学校経営研究会) | | 藤原 将人 |
| 清水亮・橋本勝 編著『学生・職員と創る大学教育 大学を変える FD と SD の新発想』 (ナカニシヤ出版) | | 絹川 正吉 |
| 書評へのリプライ | | |
| 大学間連携 SD 活動を通してみる教職員の職能開発へ向けた課題 —書評 (評者: 澤登秀雄氏) へのリプライにかえて— | | 小田 隆治 |
| 2012(平成 24)年度 大学基準協会 職員研修プログラム 実施一覧 | | |
| 2012(平成 24)年度 大学基準協会 研修修了者の声 | | 岡田 章弘・坂本 純・ 滝浦 昌敏・安田 政志・ 山本 洋司 |
| 大学職員日誌 (2012(平成 24)年 4月～2013(平成 25)年 3月) | | 原田 明德・山口 豪 |

| 第1号 (2013年3月発行) | | 在庫なし |
|--|--|--|
| 発刊の辞 | | 工藤 潤 |
| 寄稿 論文 (特集 大学職員論とは何か) | | |
| 大学職員論のこれまでとこれから | | 山本 眞一 |
| 大学職員論の課題 | | 羽田 貴史 |
| 大学職員論とは何か「大学職員の専門性と人事異動に関する考察」 | | 秦 敬治 |
| 投稿 論文 | | |
| 私立大学事務組織論 ～大学行政管理学会大学事務組織研究会の取り組み～ | | 寺尾 謙 |
| 個々人の業務責任からすべてが始まる —職員業務の新たな理解— | | 各務 正・山本 淳司 |
| 創価大学「グローバル・シティズンシップ・プログラム」の挑戦 —日本の大学におけるオナーズ・プログラム発展の可能性— | | 佐々木 諭・澤登 秀雄 |
| 大学職員におけるロールモデルと専門性に関する一考察 ～国立大学法人を中心にして～ | | 林 透 |
| 年度計画の「中間評価」を通じた内部質保証システム構築の取組 | | 高田 英一・森 雅生・ 高森 智嗣・桑野 典子・ 石丸 勝美・鶴岡 洋介・ 大坪 豊和・井上 美穂・ 先立 舞・早稲田 麻美 |
| 大学職員の専門性と求められる能力・資質の研究 | | 青山 佳世・淺野 昭人・ 川村 夏子・菊地 紀永・ 新野 豊・橋本 名津雄・ 平居 聡士・藤原 将人・ 山本 貴之・吉岡 路 |
| 私立大学等経常費補助金と大学の学習・生活環境の動向に関する考察 | | 姉川 恭子 |
| 投稿 研修報告 | | |
| 防災力向上におけるSD活動の有効性 —横浜国立大学職員防災力向上研究会の取組み— | | 今村 しおり・竹下 泰弘・ 小柴 佑介・正木 佳代子・ 清水 博史・望月 邦宏・ 鈴木 雄二 |
| 書 評 | | |
| 日本高等教育学会 編『高等教育研究 第13集 特集 スタッフ・ディベロップメント』(玉川大学出版部) | | 絹川 正吉 |
| 小田隆治 著『大学職員の力を引き出すスタッフ・ディベロップメント 大学のアイデンティティを鍛えるプロジェクト創出型SDの記録』(ナカニシヤ出版) | | 澤登 秀雄 |
| 2011(平成23)年度 大学基準協会 職員研修プログラム 実施一覧 | | 大学基準協会事務局 |
| 2011(平成23)年度 大学基準協会 研修修了者の声 | | 井上 英治・片柳 雅道・ 佐藤 潤・芝野 剛士・ 竹内 裕一・徳政 慶子・ 平川 洋二・藤田 由典・ 松岡 尚志・依田 千春 |
| 大学職員日誌 (2011(平成23)年4月～2012(平成24)年3月) | | 山口 豪 |